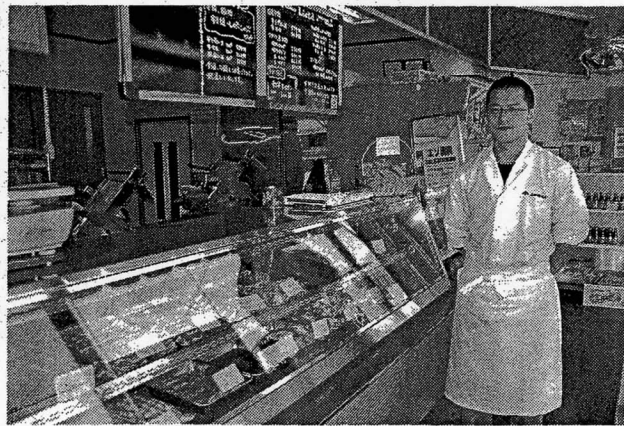


# 「帯広電信通り」大賞

## 空き店舗で交流事業先進的

【札幌】道は、「第4回いってみたい商店街&お店 北海道表彰」の受賞者を決定した。十勝からは、商店街部門の大賞に帯広電信通り商店街振興組合（帯広市、長谷渉理事長）、お店部門の準大賞に上田精肉店（新得町、上田邦夫社長）が選ばれた。商店街部門の大賞は管内では初めて。

### 道の「いってみたい商店街&お店」



「商店街&お店表彰」で大賞に選ばれた電信通り商店街の「ミナミナひろば」(上)。右は準大賞に選ばれた「上田精肉店」と上田隆史専務

### 上田精肉店（新得）準大賞

電信通りの商店街は昨年7月、空き店舗を借り上げ、「minamina（ミナミナ）ひろば」を開設。障害者福祉施設の利用者が朝取りの野菜などを販売、高齢者らが交流できる空間として喫茶コーナーを設けた。通りの車道街路

灯や歩道街路灯、「シンボルタワー」をLED（発光ダイオード）灯に転換、二酸化炭素排出量の削減にも取り組んでいる。

長谷理事長は「今年に組合設立40周年の節目で、諸先輩が取り組んできた事業が形に

なった。「ぬくもりと潤いのある、10年、20年後も夢を保持する商店街」を目指していきたい」と意欲を新たにしている。

上田精肉店は町内で50年以上、精肉店を経営。1988年からエンシカ肉の取り扱いを開始している。

購入者のリピート率が5割以上と高く、インターネッ

トで「エンシカ肉」と検索すれば上位に表示される。上田隆史専務（35）は「100号から提供できる今のスタイルを大事にしていきたい」と話している。

同表彰は、先進的な取り組みで地域経済の発展に寄与している商店街や個店を表彰。今回は市町村や経済団体から9商店街、11店の推薦があり、商店街部門とお店部門で大賞と準大賞を選んだ。表彰式は2月3日、道庁で行われる。（山下聡実、高田敦史）